

○令和5年7月27日（木）13:30～15:30 神奈川県民センター 2階ホール・15階会議室で開催

主催：神奈川県  
関東地方整備局  
後援：神奈川新聞社

○参加者 会場：220人

○挨拶 神奈川県 黒岩知事（ビデオメッセージ）、国土交通省 関東地方整備局 衛藤副局長

○基調講演 一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構 井上 公夫 専門研究員 「関東地震による神奈川県内の土砂災害」  
横浜みなと博物館 前館長 志澤 政勝氏 「関東大震災と横浜港の被災」

○パネルディスカッション『関東大震災被害とその教訓』

小野 憲司（京都大学経営管理大学院 客員教授）、今泉 マユ子（株式会社オフィスRM代表取締役）、藤崎 伸二郎（神奈川県県土整備局河川下水道部長）

### ■開催状況



受付状況



会場状況



展示状況



### ■VR防災体験コーナー



- ・シンポジウム開始前、休憩（10分）、終了後に実施（～16:30）
- ・体験参加者は約50名
- ・参加者からは、説明が分かりやすい、実際に揺れているように感じたなどの意見があった。

### ■挨拶



神奈川県 黒岩知事（ビデオメッセージ）  
「防災は『いのち輝く神奈川』の実現において最重要施策の1つ。最新のデジタル技術を利用した防災DXを推進するなど、県民の防災意識をさらに高める取組を進めていく。」



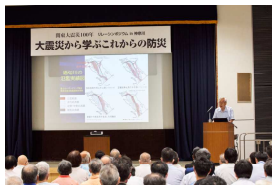
関東地方整備局 衛藤副局長

「最後に命を救うのは国民の皆様一人一人の行動であり、いざ災害が起こったときに何をすれば良いのか、『わがこと化』し、行動に移していただくことが必要。」

### ■基調講演

#### 「関東地震による神奈川県内の土砂災害」

一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構 井上 公夫 専門研究員



- ・震災発生時は、揺れそのものだけでなくそれに伴う土砂災害などによる被害も大きなものとなる。そのため、「複合災害」への備えが必要である。

#### 「関東大震災と横浜港の被災」

横浜みなと博物館 前館長 志澤 政勝氏



- ・当時は港湾の地震対応という観念がなかった。
- ・横浜港の震災復旧工事が最初の港湾震災復旧工事となった。

### ■パネルディスカッション



井上専門研究員 志澤氏 今泉代表取締役 藤崎部長 小野教授

#### 『関東大震災被害とその教訓』

〈コーディネーター〉  
◇京都大学経営管理大学院

小野 憲司 客員教授

〈パネラー〉  
◇一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構 井上 公夫 専門研究員  
◇横浜みなと博物館 前館長 志澤 政勝氏  
◇株式会社オフィスRM 今泉 マユ子 代表取締役  
◇神奈川県県土整備局 河川下水道部 藤崎 伸二郎 部長

#### 主な意見

- ・命を助けるだけでなく、被災者に寄りそう復旧・復興までが災害対応（小野教授）
- ・身の回りの地形的リスクに目を向けることが重要（井上専門研究員）
- ・災害時には海上輸送が不可欠であり、港の復旧は市民生活の復興の要（志澤氏）
- ・「日常」と「非日常」を切り分けない「フェーズフリー」（今泉代表取締役）
- ・ハード・ソフトの両面からの災害対策が必要（藤崎部長）